

發生 昭和八年二月二十日  
解決 同年四月一日  
所要日數 十二日  
參加人員 八名

### 解 決 條 件

水火夫長二圓五十錢 其他乘組員平均二圓宛増給  
▲富島組大正船夫待遇改善闘爭  
富島組大正船夫待遇改善闘爭  
爭議形態 交渉  
發生 八年三月三十一日  
解決 八年四月二十六日  
所要日數 二十七日  
參加人員 四十九名

### 覺 解 決 條 件 書

株式會社富島組代表者と大阪海友同志會代表者との間に株式會社富島組所屬大正船夫の雇傭條件  
に關し左記の如く協定し昭和八年四月十五日より之を實施す

一、船夫の航海賃は從來の百石に付四圓三十錢を四圓五十錢に改正支給する事

二、船夫の放天鳴野行航海賃は市外行と同様に取扱ふ事

三、平田船夫の航海賃は從來合名會社尼ヶ崎汽船より、質率の五割五分支給せしを五割七分に改正支  
給する事

四、陸揚仕事の航海賃は從來の二圓五十八錢を二圓六十七錢に改正支給する事

五、陸揚船夫の月給は從來通りとし航海割増手當一圓を二圓十錢に改正支給する事

右改正各條項は今夏發表を豫定せる新質銀制度實施に至る迄の暫定的約定にして新質銀制度制に對  
し何等の基礎をも提供するものに非ず

昭和八年四月二十六日

株式會社富島組代表者 野口 正三<sup>(1)</sup>  
大阪海友同志會代表者 片山 國治<sup>(2)</sup>

▲阪若東船若松丸解散手當要求闘爭  
爭議形態 交渉  
發生 昭和八年四月一日  
解決 同年四月一日  
所要日數 一日  
參加人員 九名